



日本インテリア学会
第34回大会（福島）
大会長

速水 清孝

このたび、日本インテリア学会第34回大会を福島県郡山市・日本大学工学部で開催させていただくこととなり、誠に光栄に思います。開会に当たりまして、本学を代表してご挨拶を申し上げます。

私たち日本大学工学部の歴史は、1929（昭和4）年、東京・駿河台に設立された日本大学専門部工科に始まります。それが第二次世界大戦後の1947（昭和22）年、福島・郡山に新天地を求めて移り、専門部工科から第二工学部へ、さらに工学部へと名称変更を経ながら、今日まで75年を郡山の地で歩んでまいりました。

移転以来、東北の厳しい自然に揉まれ、近年の東日本大震災とそれに伴う原子力災害（2011年）、令和元年東日本台風被害（2019年）、さらに昨年・今年と2年続いた福島県沖地震の被害を経てもなお、教員一同の中に培われた忍耐強さとたゆまぬ努力を尊ぶ姿勢によって、地方都市の私立大学として一定の存在感を示してきたと自負しております。

さて、今回の大会は、先述のように郡山を会場として、10月22日（土）の研究発表会に続いて、23日（日）には、講演会・見学会が企画されています。

とはいえ、周知のように新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中ですので、それぞれの企画はオンラインでの開催となっています。私たちの不慣れもありますし、実行委員会と申しまして、その実、かなり手作り感満載のものです。大会にご参加下さる皆様に、どれだけ郡山での開催の雰囲気をお感じいただけるか、不安に思う部分もないわけではありません。不手際ありました折には、手作りのゆえとご寛恕いただけますとありがたく思います。

最後に、今回の第34回大会が、参加された皆様にとりまして、より有意義で、実りの多いものとなりますよう、また、1989（平成元）年設立の歴史ある日本インテリア学会の益々のご発展と会員の皆様のいっそうのご活躍を心より祈念申し上げて、ご挨拶と致します。

—日本インテリア学会第34回大会（福島）実行委員会—

大会長	速水 清孝	（日本大学工学部）
実行委員長	市岡 綾子	（日本大学工学部）
副実行委員長	牧田 和久	（会津大学名誉教授）
実行委員	鈴木 ひなた、川島 由梨、横井 誉大、吉澤 伊代 後藤 謙、金子 裕行、仲澤 和宣、藤田 延幸、上野 義雪	